

大門良輔

県政報告

2月議会一般質問
経済産業委員会
6月議会予算特別委員会

ご挨拶

日頃から大門良輔に温かいご支援とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

昨今、新型コロナウイルスが猛威を振るい、戦後初となる緊急事態宣言が発令されました。自粛生活や学校の休校など今までに経験をしたことがない、国難ともよべる事態が発生しました。そこで、皆様の我慢強い自粛生活のお陰で、富山県の第一波は収まったかと思っています。しかし、その反動は大きく、経済に与えた影響はリーマンショックを超え、戦後最大だと言われています。他にも医療、介護、保育、教育、観光など多くの課題が山積みしている状況です。これからはWithコロナとして新しい生活様式を浸透させ感染拡大を防止しつつ、経済活動のバランスが重要となってきます。そして新型コロナウイルスが終息したAfterコロナへと世界は大きく変化していきます。そのピンチをチャンスととらえ東京一極集中の是正やデジタル社会への進化など真の地方創生や輝ける富山の創造に向けて、皆様のご意見を伺いながら尽力してまいります。

大門良輔

令和2年度 滑川市の注目事業

1.

吉浦海岸の護岸工事

吉浦地区の沈下したブロックの製造や据え付け。また吉浦、笠木、三ヶ地区の堤防のひび割れや老朽化対策。令和6年頃完成予定。



2.

河川の雑木の伐採

今年度は早月川、上市川の下流部における雑木の伐採。沖田川や中川放水路の河道掘削。平塚川の石積み補修の予定。防災減災事業の安定的な予算確保に努めます。



3.

園児や通学路の交通安全対策

富山立山魚津線、滑川上市線、黒川滑川線など子どもたちの通園・通学路の安全対策として、歩道の拡幅を順次推し進めていきます。



4.

東部山麓道路

東部山麓道路の入会橋から180m舗装工が完了。随時予算を確保し早期開通を目指します。完成すれば魚津側に行かなくても、みのわテニス村に行く事が出来るようになります。



5.

土地改良の水路改修

安定した農業経営の育成と生産基盤の整備のため中加積南部地区、西加積・中北地区、早月加積北部地区の農地整備事業の推進。



6.

本江地区の急傾斜崩壊対策事業

土砂災害特別警戒区域の民家等を守るため、落石防止フェンスの設置。近年豪雨により発生している土砂災害から守ります。令和8年頃完成予定。



7.

沖田川の放水路工事

沖田川の第二期工事に向けて今年度は用地買収の実施。工事着手に向けて現在設計中。



8.

稲泉交差点左折専用レーン

事故が多発している国道8号線の稲泉交差点の左折専用レーンの設置に向け北陸整備局へ要望活動を実施。今年度、左折専用レーン完成予定。



新型コロナウイルス関連事業

新型コロナウイルス関連の情報を取りまとめ、県当局へ要望



自民党政調会を中心に、各地域や業界での状況を集約し、必要な政策を取りまとめ県当局へ要望。私たちの要望内容が補正予算に組み込まれ事業化されました。またコロナウイルスの影響を受け、今までになかったウェブ会議などを活用し、移動制限のある中でも県外の情報収集や大学教授からのレクチャーを受けながら、コロナ対策を進めていきました。

新型コロナウイルス第3次補正予算

1. 第2波に備えた医療・介護等提供体制の整備

- ▶ 医療機関の感染症対応の設備整備等への支援 約15億円
- ▶ 一般・重症病床確保のための空床補てん 約34億円
- ▶ 介護サービス事業所の感染防止対策への支援 約26億円
- ▶ 障害福祉サービス事業所の感染防止対策等への支援 約7.4億円 など

2. 感染防止対応の強化「新しい生活様式」への対応

- ▶ PCR 検査体制の拡充 約1.9億円
- ▶ 保育園・幼稚園や学校等の感染防止対策の強化 約15.7億円
- ▶ 理美容師や接骨院など接触を要する事業者等への感染防止対策の支援 約1.4億円
- ▶ 新しい生活様式の浸透や第2波に備えた啓発 約0.8億円 など

3. 事業の継続と雇用の維持、県民生活への支援

- ▶ 中小企業・小規模事業者等の資金繰りへの支援 約104億円
- ▶ 地域企業再起支援事業費補助金の拡充 約7億円
- ▶ 生活福祉資金貸付原資の拡充 約10億円
- ▶ 生活困窮者向け住居確保給付金 約0.1億円 など

4. 経済活動の回復、アフターコロナに向けた取り組み

- ▶ 富山ゴー・トゥ & ウェルカム・ホーム促進事業 約4.2億円
- ▶ 県内全域の光ファイバー網の整備推進 約18.6億円
- ▶ TOYAMA2020 高校野球大会、高校・中学スポーツ交流大会への支援 約0.2億円
- ▶ 新たな生活様式に対応した芸術文化活動への支援 約0.2億円 など

2月議会 一般質問



2 気象変動への対応

質問 県は温室効果ガス排出量を2030年度までに2013年度比で30%削減する目標を掲げているが、今後どう取り組むのか、問う。

回答(石井知事) 富山県は「ゼロカーボン宣言」を行った。県としては、一層の意識の浸透を図り、県民の皆さんと協力し、カーボンリサイクルや水素社会の実現など革新的な環境イノベーションの推進を求めながら地球温暖化対策に積極的に取り組んでいきたい。

1 東部山麓道路の進捗について

質問 東部山麓道路は、朝日町から富山市大沢野地域まで各市や町の山間部にある観光地の拠点の発展につながる道路として期待されるが、今後どう整備を進めていくのか、問う。

回答(土木部長) 現在、魚津市の青柳から大海寺野地内の約2.3kmのバイパスや滑川市上大浦から蓑輪地内の約2.5kmのバイパス整備に鋭意取り組んでいるところであり、県としては、引き続き、事業中区間の一層の整備促進に努めていきたい。

3 育児ストレスについて

質問 育児ストレスが2人目の出産の有無に影響しており、夫の育児参加や社会全体での子育て環境の整備など育児ストレスの改善が必要と考えるが、どう取り組むのか、問う。

回答(石井知事) 妊娠から出産までの切れ目のない支援や、不安を抱えた妊婦の相談窓口の設置、産後うつ等の早期支援のため母子保健関係者の連携を強化など、産後間もない時期の女性の負担軽減を図るため、市町村と連携して子育てに優しく温かい社会づくりを積極的に推進する。

経済産業委員会

1 経済の復活についてどの様に取り組むのか

質問 新型コロナウイルスの影響で国や県、市では、事業者を支えるために給付金や補助金を出しているが、まだまだ経済は厳しい状況にある。富山の経済をどのように支え、復活に向けて取り組むのか問う。

回答(商工労働部長) 県内経済への影響に積極的かつ迅速に対応するため、必要な措置をしっかりと検討し、感染症防止と社会経済活動との両立を図ったうえで、市町村や経済団体など各分野をはじめ幅広い県民・事業者の皆様のご意見を伺いながら「ここをひとつに」して全力で取り組んでまいります。

2 雇用のマッチング

質問 有効求人倍率が落ちてきている中でも、土木や介護など人手不足の業種もあるが、そのマッチングについてどのように考えているのか問う。

回答(山科班長) 「雇用維持・継続のための人事交流・人材派遣支援事業」を計上し、新型コロナウイルス感染症の影響等により、雇用の維持・継続が難しい事業主と人手不足等の事業主の間において、一時的に人材を外向・交流等させることで人材を融通し合い、雇用の維持・継続を図る取組みを支援しているところです。

6月議会 予算特別委員会



2 貧困世帯や1人親家庭の支援を手厚く

質問 ひとり親家庭をはじめとする生活困窮家庭に対して、更なる支援の充実が必要と考えるが、今後どのように取り組むのか、所見を問う。

回答(石井知事) 国の第二次補正予算を活用し、低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金、生活困窮者向けの住居確保給付金などを6月補正予算案に計上している。引き続き、国や市町村や関係団体と連携協力し、必要な世帯に支援が迅速に行き届くよう、積極的に取り組みたい。

4 東京一極集中是正への取り組み

質問 東京一極集中是正の動きが加速化することが予想される中、富山県は何を強みとし、何にターゲットを絞った戦略を立て、どのように進めていくのか、所見を問う。

回答(石井知事) デジタルの加速化を最重点課題とし、未来技術を活用した産業分野の活性化、オンラインによる教育・文化、医療、福祉の充実などに取り組み、若者や女性の移住先としての富山県の魅力を更に高めたい。その為に、県内全域に光ファイバー網の整備を、市町村と共同して一気に進め、国の社会構造を「地方分散型」に変え、真の地方創生へと進める。

1 高校生1人1台のタブレット端末の整備を早めよ

質問 社会全体がデジタル化をする中で普通科も含めた県立高校生に1人1台のタブレット端末の早い配備が必要と考えるが、高校の配備計画について問う。

回答(石井知事) 今後、教育のDXを加速化する観点も踏まえ、新たに設置する有識者委員会において、義務教育ではない高校での自己負担のあり方や県の財政負担などを含め、端末配備のあり方について専門家のご意見を踏まえて検討していきたい。

3 子ども食堂の支援

質問 今後子ども食堂のニーズや必要性が増すと感じているが、今後どのように取り組むのか問う。

回答(厚生部長) 県では5月の専決処分により、感染症対策を講じたうえで食事提供を行うこども食堂などの団体に対する新たな支援制度を創設したところである。引き続き、生活に困窮する子育て家庭等への食事支援や子どもの居場所づくり・見守り活動といったこども食堂の機能が地域において発揮されるよう、市町村と連携して支援していきます。

5 光ファイバー化の整備について

質問 光ファイバー網整備推進事業費補助金の活用について、この事業によりケーブルテレビや中山間地域も含めて、県内全ての地域の光ケーブル化が可能となるのか問う。

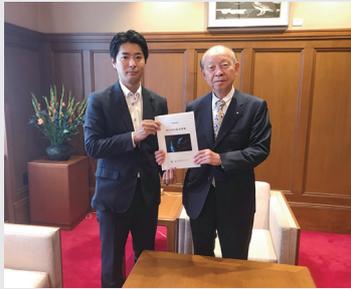
回答(経営管理部長) 国庫補助対象外の放送部分の整備費に県が約6割を補助することで、国庫補助金等の活用と併せて市や町等の財政負担を軽減し、一気に整備をすすめる予定である。今回の事業により、民間通信事業者とCATV事業者を合わせた光ファイバー網の世帯カバー率は本県では100%となる。100%は神奈川県に次いで全国で2県目であり、これは本県のストロングポイントになると考える。

Point 6

活動報告

1. 石井知事へ要望書を提出

滑川市の重点事業に関する要望書を石井知事に提出。



2. 厚生連滑川病院視察

地域の拠点病院として、必要な病院である厚生連滑川病院を自民党議員の皆さんと一緒に視察。地域医療構想の課題について共有できました。



3. 自民党保育議連の発足

自民党保育議連を発足しました。保育の現場と連携をして、多様化する保育の現状を把握し、より良い子育て環境の実現に向け努力していきます。



4. 観光建設部会意見交換会

コロナウイルスで打撃を受けた観光・建設業界の方々との意見交換をさせていただきました。副部会長として課題をまとめ、県当局と調整させていただきました。



Point 7

自民党一期生 令和の会で政策提言

自民党 1 期生の令和の会で、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、時代が一気に変化することを予測し、この危機をチャンスと捉え ①子育て・教育 ②医療・介護・福祉 ③インフラ整備 ④空間管理・治安・防災 ⑤労働・産業・テクノロジー ⑥自治体行政・議会の 6 分野に分け「反転攻勢への英断」と題して自民党政調会に政策提言を提出しました。「医療」では働き方改革や地域医療構想の見直し「教育」では 1 人 1 台のタブレット端末の整備や個別最適化された学び。「インフラ」では東京一極集中の是正のために早期の富山県内の光ファイバー化や自然エネルギーの活用などを盛り込みました。

提出した内容を自民党の政策として入れていただき 6 月補正予算の中に反映していただきました。



富山県議会議員 大門良輔

出前講座ご希望の方は下記まで
お問い合わせ下さい。

発行人 自由民主党富山県議会議員会 大門良輔
令和2年8月発行

住所：滑川市高月町561 TEL：076-475-0455 FAX：076-475-9888

MAIL：ryosukedaimon0326@gmail.com FB：https://www.facebook.com/ryosuke.daimon.7